

# 東京学芸大学リポジトリ (仮称)

## リポジトリシステムの選定・導入について

平成17年度CSI委託事業報告交流会  
第一部:システム Part 1「システム構築」  
平成18年5月16日(火) 於 学術総合センター

東京学芸大学学術情報部 情報管理課情報基盤整備室  
学術ポータル係 高井 力

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

～ 本日のテーマ ～

- ・ 学芸大サービスの中のリポジトリ
- ・ リポジトリシステムの選定・導入

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 学芸大学の既存システムの中に位置づける

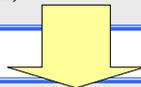
いままでの電子図書館の試み

- ・平成13年度 補正予算により  
ネットワーク基盤整備と電子図書館システムの構築  
図書館業務システムと別の運用
- ・ETOPIA による教育関連情報の提供  
貴重書およびOPACに入らない情報の公開  
学内教育研究業績の一部の公開

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## リポジトリシステムの機能

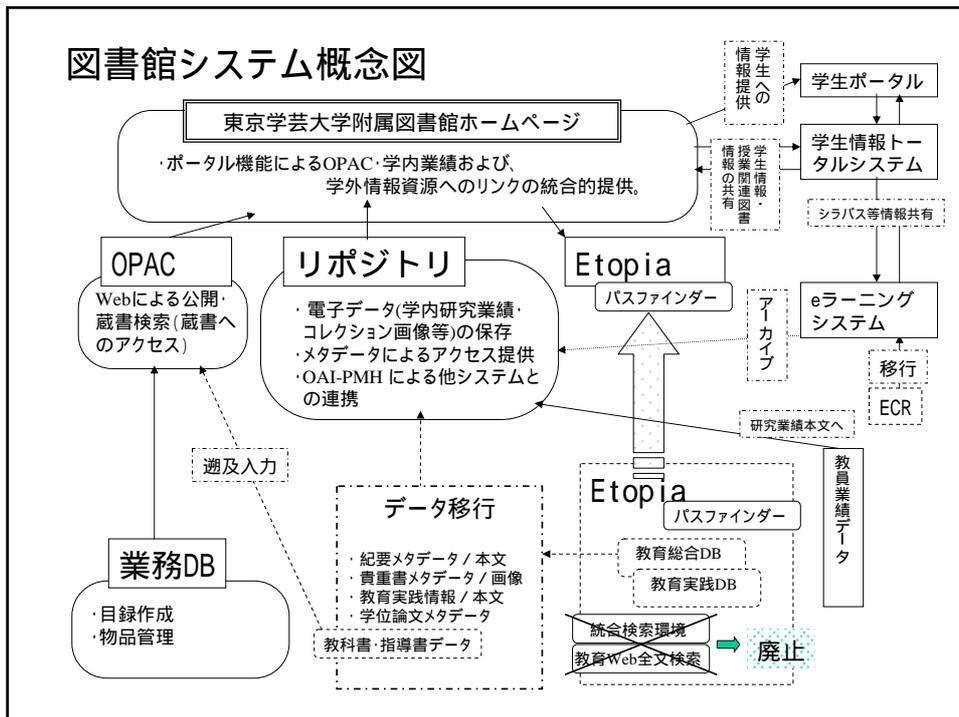
一次資料を提供する機能を持つ  
インターネット標準の管理用データ(メタデータ)  
教員等より教育研究成果情報を収集する機能  
を持つ(投稿機能)



学内教育研究成果情報の収集・公開をさらに  
広く展開し、大学の事業としての運営を目指す

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 図書館システム概念図



## 東京学芸大学リポジトリ

### リポジトリシステムの選定・導入

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 平成17年度計画概要

- 1) サーバ等基盤の構築
- 2) 既存の電子図書館システムからのデータ移行
- 3) NIIとの連携(メタデータハーベスティング)
- 4) 教員業績データベースなどとの連携

まず、「基盤の構築」と「NII連携」

平成16年度参加の実証実験  
・リポジトリについての調査  
・システムについての知識

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## システムの継続的な運用のために

事業の継続性

システムのメンテナンスの保障

担当者の異動で運営不能となるシステムは不可

(現在の大学図書館の体制では継続的に  
技術力のある担当者を充てるのが困難)

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 選定の基準1 (ハード・ソフト)

・サーバ要件  
十分なスペックがあれば特殊な機械は必要ない  
ハードディスクの容量と拡張性は重要

・ソフトウェア要件  
Dspace 相当の機能を持ったシステムであること。

フリーソフトウェアでの構築・改良の場合、提供業者の間で価格差はあまりない。  
企業で独自開発したシステムはかなり高額。

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 選定の基準2 (保守)

～ ～ ～ 継続運用のために ～ ～ ～

**フリーウェア**      メリット ⇔ デメリット  
非常に安価に構築が出来る ⇔ 導入の労力Up  
定常的な経費も発生しない ⇔ バージョンアップ等の労力 / 故障の修理も必要(経費予測不能)  
カスタマイズが柔軟に可能 ⇔ ただし、やるのはそれぞれの機関  
[その他の問題点] 技術の継承の問題

**企業製品**  
導入の労力の削減 ⇔ 初期導入費用がかかる  
メーカーの保守をつけられる ⇔ 定常的な経費が必要(ある程度の不具合の修理等も) (ただし、予測可能)  
バージョンアップ軽微なカスタマイズなどは保守の範囲 ⇔ 自機関でのカスタマイズは無理

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## サポートの要件

1. 年額(月額)での保守契約
2. プログラムのバージョンアップ
3. プログラムの修正
4. セキュリティへの対処
5. 技術情報の提供
6. 障害対応

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 仕様概要

サーバ: DELL PowerEdge 2800  
CPU: XEON 3.2GHz × 2  
主記憶: 4GB  
ハードディスク: 500GB (RAID 5構成)  
OS: Red Hat Enterprise Linux  
DBMS: ORACLE  
バックアップ装置(LTO2)、無停電電源装置

ソフトウェア: NTT製 リポジトリソフトウェア  
(Dspace がベース)

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 導入時の調整

1. 情報処理センターとの打ち合わせ  
(IPアドレス、サーバ名、使用ポート)
2. メタデータ項目の調整  
Typeについて NII の項目への変換ロジック調整  
(独自項目の追加など必要)
3. 画面に表示する項目
4. ユーザー、グループ、コレクションの定義
5. NIIにハーベスティングの申請・CNRIへハンドルの申請

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

## 今後の計画

- ・ 発信すべき学術情報の再整理
- ・ 教育系のリポジトリとして  
学内にある教育実践情報などの収集・公開  
学外のものでも有用な情報は収集を検討する

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>